

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100350		
法人名	ジンフィールド株式会社		
事業所名	グループホーム シニアライフ本庄		
所在地	佐賀市本庄町大字鹿子9番地3		
自己評価作成日	平成30年2月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年3月14日	外部評価確定日	平成30年3月29日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・医療機関と連携を密にとり、報連相を徹底し健康状態の把握、早急な対応が出来る様にしている。 ・日々の体操、生活リハビリ、レクリエーション、マッサージ等を利用し残存機能維持、向上の取組を行っている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>法人母体は薬局である。そのホームページには「介護施設の職員と薬剤師が同じ会社の社員であるため利用者に対してよりよいサービスが実践できる」と記している。協力医との連携など医療体制が整っていることも家族には安心感を与えている。また管理者は職員への指導が必要な時、ただ否定するのではなく意欲へ繋がるようなアドバイスを心掛けている。現状で出来ていないことにも真摯に向き合っている。利用者に対しては理念のキーワードでもある「尊厳」を大切にし、地域と馴染みながら暮らしていけるよう努めている。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	<p>○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「尊厳楽しく明るく安心」を理念として掲げ「地域の人と触れ合おう地域の人の為になろう地域福祉の核になろう」をスローガンに、またユニットごとに半年間の目標を朝礼にて唱和を行っている。各職員の個人目標を掲げ日常の介護業務の中での浸透を図っている。</p>	<p>「尊厳楽しく明るく安心」を理念として掲げ「地域の人と触れ合おう地域の人の為になろう地域福祉の核になろう」をスローガンに、またユニットごとに半年間の目標を朝礼にて唱和を行っている。各職員の個人目標を掲げ日常の介護業務の中での浸透を図っている。</p>	<p>既に開所していた事業所から経営を含む全てを引き受け、法人名も変更し現在に至っている。理念は従来そのままを引き継ぎ、目に付く場所への掲示や毎朝の唱和で意識付けを図っている。各ユニットでは半年毎に目標を定め、法人主催の成果発表会も行われている。自分達が掲げた目標を自己評価することによって自覚も促している。日々のケアの中で理念の浸透が感じられるのは利用者に対する言葉使いであり、キーワードである「尊厳」を大切にしているのが窺える。</p>	
2	(2)	<p>○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域に愛され、地域に開放された事業所目指しを事業所の菜園や花壇を地域の人に開放し現在民生委員や地域の方に利用して頂き共同栽培を実施している。収穫した野菜類は入居者の食事に提供し共同栽培の楽しさを地域の人と共生して味わっている。</p>	<p>地域に愛され、地域に開放された事業所目指しを事業所の菜園や花壇を地域の人に開放し現在民生委員や地域の方に利用して頂き共同栽培を実施している。収穫した野菜類は入居者の食事に提供し共同栽培の楽しさを地域の人と共生して味わっている。</p>	<p>自治会に加入し回覧板も回され、地域の情報は入ってくる。また運営推進会議でも、メンバーである地域役職者からもたらされることもある。しめ縄作りや運動会の見物に出掛けたり、公民館掃除には積極的に参加している。理念の他に掲げるスローガンに謳っている通り、地域との接点を大切にし、専門知識を活かした貢献への意欲もある。事業所の畑をきっかけに交流が更に広がるよう努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域に愛され、地域に開放された事業所目指しを事業所の菜園や花壇を地域の人に開放し現在民生委員や地域の方に利用して頂き共同栽培を実施している。収穫した野菜類は入居者の食事に提供し共同栽培の楽しさを地域の人と共生して味わっている。</p>	<p>地域に愛され、地域に開放された事業所目指しを事業所の菜園や花壇を地域の人に開放し現在民生委員や地域の方に利用して頂き共同栽培を実施している。収穫した野菜類は入居者の食事に提供し共同栽培の楽しさを地域の人と共生して味わっている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は二ヶ月に1回実施し、委員からの意見、要望を聞き、速やかな対応を行っている。運営推進会議の内容は全体ミーティングで取り上げ、全職員に委員の意見要望を伝達している。外部評価介護サービス公表の内容についても再検討し運営推進会議委員及び職員にも周知徹底させる。	運営推進会議は二ヶ月に1回実施し、委員からの意見、要望を聞き、速やかな対応を行っている。運営推進会議の内容は全体ミーティングで取り上げ、全職員に委員の意見要望を伝達している。外部評価介護サービス公表の内容についても再検討し運営推進会議委員及び職員にも周知徹底させる。	約一時間の会議である。メンバー同士も顔見知りとなり情報交換の場にもなっている。事業所からの報告には受講した研修なども含まれ、説明や質問に答えることで出席者の知識にもなっている。また地域に暮らす独居の高齢者について話題が及ぶこともあり、行政側や事業所にとっても専門性が活かせる機会となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者、保険者とは日常の業務を通じ、連携を取り合い運営の指導、研修参加へのアドバイス等を受けている。特に生活保護者の生活状況については市保護課に報告し、連携を密にしている。また市町とハローワークを通じ、障害者2名を採用し、居室、リビング、玄関等の清掃業務に従事させている。	市町村担当者、保険者とは日常の業務を通じ、連携を取り合い運営の指導、研修参加へのアドバイス等を受けている。特に生活保護者の生活状況については市保護課に報告し、連携を密にしている。また市町とハローワークを通じ、障害者2名を採用し、居室、リビング、玄関等の清掃業務に従事させている。	運営推進会議のメンバーでもあり普段から顔見知りである。話しやすい間柄ではあるが、法人内の部署で完結できる要素が揃っていることもあり、直接の相談件数は少ない。行政側は研修案内なども行いながら、支援が必要であれば一緒に取り組む姿勢は示している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所で、身体拘束をしない、させない、許さないの三原則を守るため「高齢者虐待マニュアル」「事故、トラブル、ヒヤリ報告書」等を作成、特に、身体拘束については「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する同意書」を徴収し、かつ観察・再検討結果を行い、家族等の不安等を払拭している。	事業所で、身体拘束をしない、させない、許さないの三原則を守るため「高齢者虐待マニュアル」「事故、トラブル、ヒヤリ報告書」等を作成、特に、身体拘束については「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する同意書」を徴収し、かつ観察・再検討結果を行い、家族等の不安等を払拭している。	入居契約時に指針の説明を行っている。法人内では毎月、様々なテーマでの研修会があり、身体拘束については虐待防止と併せて行っている。玄関に施錠はなく、もし利用者が外へ向かって行動を抑えることはない。現在、居室にセンサーを付けているケースがあるが、転倒防止などで正当化することなく、使用しない工夫も模索中である。仮に管理者が不適切な場面を見た場合は、まず状況を尋ね、本人に気付かせ、意欲に繋がるような指導をすることとしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止マニュアル」を作成し「高齢者虐待発見時連絡体制表」により、虐待発生時の万全を図っている。	「高齢者虐待防止マニュアル」を作成し「高齢者虐待発見時連絡体制表」により、虐待発生時の万全を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度への理解が全体ミーティングで資料を配布するなどして「権利擁護のシステム」「成年後見制度のしくみ」などの勉強を実施している。	権利擁護や成年後見制度への理解が全体ミーティングで資料を配布するなどして「権利擁護のシステム」「成年後見制度のしくみ」などの勉強を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結については保険者の指導を受け、重要事項証明書と契約書を一本化するなどして合理化と簡素化を図った。また契約にあたっては、懇切、丁寧の内容の証明を行い、施設長、管理者、ケアマネジャー立会いで説明、理解、納得してもらっている。	契約の締結については保険者の指導を受け、重要事項証明書と契約書を一本化するなどして合理化と簡素化を図った。また契約にあたっては、懇切、丁寧の内容の証明を行い、施設長、管理者、ケアマネジャー立会いで説明、理解、納得してもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族の意見、要望が迅速に上司に届くよう職員間の意思の疎通を図る一方、玄関に意見箱を設置し、外部からの意見を反映させている。また、運営推進会議委員に家族2名が参加されており、家族から提案された意見等は直ちに検討の上、介護計画、行事計画、食事メニュー等に反映させている。	利用者や家族の意見、要望が迅速に上司に届くよう職員間の意思の疎通を図る一方、玄関に意見箱を設置し、外部からの意見を反映させている。また、運営推進会議委員に家族2名が参加されており、家族から提案された意見等は直ちに検討の上、介護計画、行事計画、食事メニュー等に反映させている。	毎月の利用料送付に際し、担当職員による近況を記したものと看護師による健康日より、また行事などスナップ写真も同封されている。加えて、遠方の家族には時折電話を掛けることもある。家族の来所は多いが片寄りもあるため、直接話が出る機会は大切にしている。なかなか想いを言ってもらえない家族とは世間話なども交えながら話しやすい雰囲気作りにも努めている。訪れる家族にも高齢化がみられ、健康面にも配慮しながらケアの対象と考えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議で事業運営についての職員の要望意見を吸収している。またユニットごとのケア会議や申し送りを実施し、職員間の意思疎通を図っている。特に勤務体制については、職員の希望休を取り入れた勤務表を作成し、調整を図り働きやすい職場環境作りに努力している。	月1回の全体会議で事業運営についての職員の要望意見を吸収している。またユニットごとのケア会議や申し送りを実施し、職員間の意思疎通を図っている。特に勤務体制については、職員の希望休を取り入れた勤務表を作成し、調整を図り働きやすい職場環境作りに努力している。	職員会議は同日に二通りあり、休みの職員も出席している。先に、行事や運営に関する全体会議を行い、その後、各ユニットに分かれカンファレンスが主となるケア会議を開いている。限られた時間を有効に使うためにも内容の事前周知や、提案などがあればホーム長がまとめておく方法が取られている。また管理者としては職員とのコミュニケーションはもとより、働きやすい職場環境作りを常に心掛けている。ここで新人教育をし、法人各施設へ配属されていることも事業所の実績からである。現場の声は管理者を通し法人の上席にも届けられている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者、管理者が職員の努力と実績を正しく理解できるよう、人事考課表を実施し、考課の適正な運用を図っている。また介護職員処遇改善交付金の説明を行い、意欲の向上を図る一方、非常勤職員から常勤職員へ、臨時職員から正規職員への登用も積極的に行う事としている。	代表者、管理者が職員の努力と実績を正しく理解できるよう、人事考課表を実施し、考課の適正な運用を図っている。また介護職員処遇改善交付金の説明を行い、意欲の向上を図る一方、非常勤職員から常勤職員へ、臨時職員から正規職員への登用も積極的に行う事としている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量と経験に応じた認知症の研修や介護技術、接遇のあり方等についての研修にも参加させ資質の向上を図っている。研修内容については、全体ミーティングで発表させ、職員の発表、発言力の養成も実施している。	職員の力量と経験に応じた認知症の研修や介護技術、接遇のあり方等についての研修にも参加させ資質の向上を図っている。研修内容については、全体ミーティングで発表させ、職員の発表、発言力の養成も実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が中心となり、県老人福祉協議会、グループホーム関係者等との交流を図ることとしており、医療、福祉、地域とのネットワークづくりを行い事業所全体のレベルアップに努めている。	管理者が中心となり、県老人福祉協議会、グループホーム関係者等との交流を図ることとしており、医療、福祉、地域とのネットワークづくりを行い事業所全体のレベルアップに努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期入居にあたっては、主として管理者があたることとしており、クライアントとの人間関係を大切にしたい対応で臨んでいる。特に、事業所の理念や医療体制、生活環境についての説明を十分に行い、相手の不安を解消し、信頼関係の構築に努めている。	初期入居にあたっては、主として管理者があたることとしており、クライアントとの人間関係を大切にしたい対応で臨んでいる。特に、事業所の理念や医療体制、生活環境についての説明を十分に行い、相手の不安を解消し、信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込みは、利用者や家族の最後の相談の拠り所と理解し、家族の意見や要望を汲みいれた対応を心がけている。特に、利用者の不安を解消する為、利用者の生活状態や性格、嗜好等を家族から聞き取り、信頼関係を作ることとしている。	入居申し込みは、利用者や家族の最後の相談の拠り所と理解し、家族の意見や要望を汲みいれた対応を心がけている。特に、利用者の不安を解消する為、利用者の生活状態や性格、嗜好等を家族から聞き取り、信頼関係を作ることとしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期支援の対応が大切な事から、ケアマネジャーがケア、診療記録等を精査し、どのような介護支援を実施するかを協議させている。ケアの内容によっては他の機関のサービス利用も提案している。	初期支援の対応が大切な事から、ケアマネジャーがケア、診療記録等を精査し、どのような介護支援を実施するかを協議させている。ケアの内容によっては他の機関のサービス利用も提案している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は家族から離れた生活の不安、苦しみもある事から、介護にあたっては人生の先輩として接し、リビングでの接し方、居室内での会話についても共有の環境の中で生活しているという認識で対応している。	利用者は家族から離れた生活の不安、苦しみもある事から、介護にあたっては人生の先輩として接し、リビングでの接し方、居室内での会話についても共有の環境の中で生活しているという認識で対応している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時にケアマネジャーを中心に担当介護士または管理者が利用者様の生活状況を説明することとしており、家族、利用者、職員で三位一体となったケアづくりに努めている。また遠方のご家族様には電話で近況を知らせている。	家族の面会時にケアマネジャーを中心に担当介護士または管理者が利用者様の生活状況を説明することとしており、家族、利用者、職員で三位一体となったケアづくりに努めている。また遠方のご家族様には電話で近況を知らせている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近郊の人の入居が多い事から家族のほか馴染みの人の面会も多い。また郊外ドライブやイベントを通じて出来るだけ外出の機会を増やし、なじみの食堂、デパートでの食事、買物をする事としている。	近郊の人の入居が多い事から家族のほか馴染みの人の面会も多い。また郊外ドライブやイベントを通じて出来るだけ外出の機会を増やし、なじみの食堂、デパートでの食事、買物をする事としている。	入居時には、これまでの人間関係を把握するために本人や家族、担当のケアマネジャー、また利用していたサービス事業所等からも話を聞き情報を集めている。具体的な支援として電話の取次ぎや盆正月の帰宅(宿泊も)、家族の協力を得ながら墓参りや法事への出席もある。法人にはリフト車両もあり、車椅子を使用する状況でもドライブ等が可能となっている。継続的な交流が出来るよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者のリズムに合わせ、会話やレクリエーション、洗濯物、食事の片付け等を通じて参加を促し行う事で孤立感を持たせない工夫をユニットごとで行っている。	利用者のリズムに合わせ、会話やレクリエーション、洗濯物、食事の片付け等を通じて参加を促し行う事で孤立感を持たせない工夫をユニットごとで行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了する人はほとんどが長期入院の退所の為、退所後も管理者や看護師が見舞いに顔を出し、退所後の状況を観察することになっている。また、経過が良好で退院可能となれば病院等と検討し、再入所も可能としている。	契約を終了する人はほとんどが長期入院の退所の為、退所後も管理者や看護師が見舞いに顔を出し、退所後の状況を観察することになっている。また、経過が良好で退院可能となれば病院等と検討し、再入所も可能としている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望、意向に添った居室のレイアウト(タンスの位置、写真の飾り付け、仏壇の備え付け等)にまた、バイタルチェック後、お口の体操を取り入れ口腔ケアにも心がけ、施行調査も実施している。洗濯物の収納は原則利用者本位で収納させている。	利用者の希望、意向に添った居室のレイアウト(タンスの位置、写真の飾り付け、仏壇の備え付け等)にまた、バイタルチェック後、お口の体操を取り入れ口腔ケアにも心がけ、施行調査も実施している。洗濯物の収納は原則利用者本位で収納させている。	居室を訪ね話し相手をしている時や入浴中に寛いでいる時など、一対一でいる時には利用者の思いが聞けることがある。発語の少ない利用者とは日々の傾聴の積み重ねである。聞き取ったことは申し送りノートやケース記録簿に記し共有しており、そこからケアプランに反映させた例もある。ケアマネジャーは記録簿等をしっかりチェックし、プラン作成に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者一人ひとりに生活歴や生活環境も異なる事から、利用者のライフスタイル、バックグラウンドをケース記録に記入し、職員と利用者とともに情報の共有をしている。	利用者一人ひとりに生活歴や生活環境も異なる事から、利用者のライフスタイル、バックグラウンドをケース記録に記入し、職員と利用者とともに情報の共有をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムに合わせたケアを行っているもの、利用者は居室を生活ゾーンにしていることもあり、居室のプライバシーを尊重しながら対応している。	一人ひとりの生活リズムに合わせたケアを行っているもの、利用者は居室を生活ゾーンにしていることもあり、居室のプライバシーを尊重しながら対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居の段階で利用者や家族の主訴を聞き取り、本人、家族の要望に添った介護計画を作成している。介護計画作成にあたっては、計画作成担当者が看護師、ケアマネジャー、介護士、家族等の意見を聴取している。月1回の担当者会議の開催時にモニタリングを実施し介護計画作成に努めている。	入居の段階で利用者や家族の主訴を聞き取り、本人、家族の要望に添った介護計画を作成している。介護計画作成にあたっては、計画作成担当者が看護師、ケアマネジャー、介護士、家族等の意見を聴取している。月1回の担当者会議の開催時にモニタリングを実施し介護計画作成に努めている。	ケアプランは入居して間もない時期は毎月、その後三か月毎、六か月毎と利用者に応じた設定期間を設けている。その間に変化があれば臨機応変な見直しもを行っている。利用者の希望は日頃の関わりの中で把握し、家族の要望等は来所時や電話での会話から汲み取るようにしている。現状維持を願うリハビリ等を希望する家族は多い。日常の動作を生活リハビリとし、残存能力の維持に努めている。サービス担当者会議には家族の同席もお願いしているが、難しい時には来所時での対応としている。月に一度はモニタリングを行っており、バイタル等と共に一か月分が記された表にもその欄がある。ケース記録簿を元にケアプランの実施状況は細かく確認されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の記録は、ケース記録やバイタル表に記録し、職員がいつも見られる体制作りをしている。夜間はユニットごとに分かれ2名で勤務体制をとっており、全利用者の健康状態、日常動作について職員間で申し送り等で確認を行う事としている。	利用者の日々の記録は、ケース記録やバイタル表に記録し、職員がいつも見られる体制作りをしている。夜間はユニットごとに分かれ2名で勤務体制をとっており、全利用者の健康状態、日常動作について職員間で申し送り等で確認を行う事としている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当事業所では、グループホームほか、短期入所と通所介護も行っており、家族や利用者のニーズにあった介護サービスを提供できる体制作りをしている。	当事業所では、グループホームほか、短期入所と通所介護も行っており、家族や利用者のニーズにあった介護サービスを提供できる体制作りをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	当事業所は地域に根差した事業所作りを指標としている事から、常に地域との良好な関係を築く事としており、地域ボランティアを招き、歌、太鼓等の行事を実施している。また、積極的に家族ボランティアもお願いしている。	当事業所は地域に根差した事業所作りを指標としている事から、常に地域との良好な関係を築く事としており、地域ボランティアを招き、歌、太鼓等の行事を実施している。また、積極的に家族ボランティアもお願いしている。		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は入居前からかかりつけ医との健康面の信頼関係が構築されていることから、入居後も、本人の希望を優先させかかりつけ医の受診を行っている。また協力病院とは訪問診療も受け入れ、入居者様家族には、看護師から健康状況ダイレクトメール「健康だより」を発送している。	利用者は入居前からかかりつけ医との健康面の信頼関係が構築されていることから、入居後も、本人の希望を優先させかかりつけ医の受診を行っている。また協力病院とは訪問診療も受け入れ、入居者様家族には、看護師から健康状況ダイレクトメール「健康だより」を発送している。	現在は全員が協力医をかかりつけとしている。事前の家族アンケートでは「健康面や医療面等について心配な点はない」と答えた家族も多い。入居後に協力医への変更を希望したケースでは、月二回の往診など訪問診療の体制について説明を受け納得しての判断である。他科受診で職員が同行する時は、当日中に家族へ結果を報告する事としており、メールも活用しながら念を入れている。他科診療での病院選択は家族の希望に沿いながら支援されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当事業所では、特に健康管理面を強化する事に力を入れ、非常勤の看護師を配置し健康維持、緊急対応時に万全を期するとともに、毎月「健康だより」を発行し、入居者の健康状況を報告することとしている。協力病院とは看護師を通じ24時間体制で臨んでいる。	当事業所では、特に健康管理面を強化する事に力を入れ、非常勤の看護師を配置し健康維持、緊急対応時に万全を期するとともに、毎月「健康だより」を発行し、入居者の健康状況を報告することとしている。協力病院とは看護師を通じ24時間体制で臨んでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合は、安心して療養に努め、早期退院ができるよう医師との連携を図っている。特に協力病院とは地域連携室を通じ常に病状の状況を把握できるよう協力体制をつくっている。	利用者が入院した場合は、安心して療養に努め、早期退院ができるよう医師との連携を図っている。特に協力病院とは地域連携室を通じ常に病状の状況を把握できるよう協力体制をつくっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者は高齢なことから、最悪の事態も考えられるため、「看取りに関する同意書」を家族から徴収し、了解を受けている。そのため当事業所では「重度化対応指針」のマニュアルを作成している。当事業所では、「事故別緊急連絡体制表」及び、夜間時の「緊急時連絡系統表」を作成している。	利用者は高齢なことから、最悪の事態も考えられるため、「看取りに関する同意書」を家族から徴収し、了解を受けている。そのため当事業所では「重度化対応指針」のマニュアルを作成している。当事業所では、「事故別緊急連絡体制表」及び、夜間時の「緊急時連絡系統表」を作成している。	入居契約時に指針の説明を行っている。その際、内容や手順、家族間の意思統一についても触れている。これまでに看取りの経験はないが、今後、希望があればその用意はある。未経験の職員に対しそのフォローとして日頃から勉強会のテーマにも挙がっている。看護師の自宅も近く、すぐに対応や指示が出せることは夜間帯の急変にも心強い。容態の変化に伴い家族の気持ちも揺れ動くことを踏まえ、その都度、話し合いを重ねる事としている。本人や家族が納得して最期を迎えられるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者が疾病や交通事故による事案が発生したときの場合を想定して「事故別緊急連絡体制表」を作成しているほか、緊急時による対応訓練を行っている。	利用者が疾病や交通事故による事案が発生したときの場合を想定して「事故別緊急連絡体制表」を作成しているほか、緊急時による対応訓練を行っている。	/		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防署指示の下、日中、夜間を想定した誘導、避難訓練を実施している。また避難誘導時の搬送順を共有し、迅速、安全な避難訓練を実施している。さらに近隣タクシー会社の協力を得て合同の消防訓練も実施している。	年2回の消防署指示の下、日中、夜間を想定した誘導、避難訓練を実施している。また避難誘導時の搬送順を共有し、迅速、安全な避難訓練を実施している。さらに近隣タクシー会社の協力を得て合同の消防訓練も実施している。	年二回の避難訓練を行い、うち一回は消防署も立ち会っている。昼間帯に行い、夜間は想定のみである。近隣住民には周知や協力要請はしていないが、隣接する会社は一斉通報の連絡網にも登録されており協力者である。利用者も一緒に避難を体験し、職員は消火器や火災通報装置の使い方も承知している。非常食や水、寒さを凌げる物などの備蓄は現在準備中である。一次避難場所を近くの公民館とし、反省点などの指摘があれば速やかに改善され全員に周知している。また自然災害の想定では、事業所周辺での過去の災害を知ることから推し測ろうとしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当事業所では「個人情報保護法管理規定」を作成。また、玄関掲示板に「個人情報に関する方針」を掲示し外来者にも個人情報保護の徹底を広報している。職員からは採用時に個人情報保護のための誓約書を徴収し、家族からは「個人情報の同意書」徹底、個人のプライバシー保護に万全を期している。	当事業所では「個人情報保護法管理規定」を作成。また、玄関掲示板に「個人情報に関する方針」を掲示し外来者にも個人情報保護の徹底を広報している。職員からは採用時に個人情報保護のための誓約書を徴収し、家族からは「個人情報の同意書」徹底、個人のプライバシー保護に万全を期している。	トイレや入浴の介助は羞恥心等への配慮が最も必要な場面である。入居して間もない頃は同性による介助とし、周囲に見え難い立ち位置などを心掛けている。接遇の研修もある。また個人情報の取扱いに対する職員の意識は高いものの、仕事から会話の中に情報が含まれることを踏まえ、声の大きさなど折に触れ説いていく事としている。また入居契約時には居室の名札表示やスナップ写真等の掲載についても承諾を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が事業所内で自分の生活リズムにあった生活ができるよう本人の日常生活の中での希望や、意見を聞きその内容に応じて行っていく事としている。	利用者が事業所内で自分の生活リズムにあった生活ができるよう本人の日常生活の中での希望や、意見を聞きその内容に応じて行っていく事としている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は計画的に策定しているが利用者のリズムに合った生活パターンも必要な事からリビングでのテレビ鑑賞、気の合う者同士の会話、集団レクリエーションを行っている。また、洗濯物の取り込みや食事の後の片付け等も本人の希望を優先し生活リズムの共用に努めている。	一日の日課は計画的に策定しているが利用者のリズムに合った生活パターンも必要な事からリビングでのテレビ鑑賞、気の合う者同士の会話、集団レクリエーションを行っている。また、洗濯物の取り込みや食事の後の片付け等も本人の希望を優先し生活リズムの共用に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者に女性が多い事から、頭髪、着衣等に配慮し、毎月1回訪問理容を定め生活に潤いをもたせている。	利用者に女性が多い事から、頭髪、着衣等に配慮し、毎月1回訪問理容を定め生活に潤いをもたせている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝、昼、夕の食事時には必ず職員も利用者と同じ食卓につき、会話を交えながら食事をとる事としている。利用者の中で軽度の認知症の方は、職員と一緒に食器の片付けもされ、家庭的雰囲気もだしている。食堂には一日のメニューを掲示しており食事の楽しみを共有している。	朝、昼、夕の食事時には必ず職員も利用者と同じ食卓につき、会話を交えながら食事をとる事としている。利用者の中で軽度の認知症の方は、職員と一緒に食器の片付けもされ、家庭的雰囲気もだしている。食堂には一日のメニューを掲示しており食事の楽しみを共有している。	献立は法人の栄養士が作り事業所へ示される。主菜を独自に提供することは難しいが、小鉢で一品、副菜として追加し利用者の食べたい物に依っている。好き嫌いやアレルギー有無の把握もしており、苦手な食材の時には代替えもある。なかなか箸が進まない場合は声掛けをし、スプーンや器の工夫、また高カロリー食の常備もある。食事時は検食者のみと同じものを食べ、他の職員は介助優先である。できるだけ自分で口へ運んでもらいたいとの思いはあるが、歳を重ねるごとに介助の度合いが高くなるのも現状である。誕生日は月に一度まとめて祝い、職員の手作りケーキも用意されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1週間のメニューの献立は、職員が作りなるべく季節の物を取り入れ食事提供を行っている。また時期をみて嗜好調査を行い、個人の食欲増進を促し健康の保持に努めている。食事摂取には時間制限を設けず、ゆっくり食べられる食事環境づくりに努めている。	1週間のメニューの献立は、職員が作りなるべく季節の物を取り入れ食事提供を行っている。また時期をみて嗜好調査を行い、個人の食欲増進を促し健康の保持に努めている。食事摂取には時間制限を設けず、ゆっくり食べられる食事環境づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食時の歯磨きは、日課に取り入れ自分で歯磨きが出来ない人には職員が介助し、口腔内の清潔保持に努めている。毎週木曜日を「口腔ケアの日」と定め、歯科衛生士による口腔管理を行っている。	毎食時の歯磨きは、日課に取り入れ自分で歯磨きが出来ない人には職員が介助し、口腔内の清潔保持に努めている。毎週木曜日を「口腔ケアの日」と定め、歯科衛生士による口腔管理を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄には特に配慮し、できる限り自力排泄が出来るように支援し必要によっては職員が見守り誘導しながらのトイレ排泄を実施している。特に個人別のデータによる排泄記録により自力排泄に取り組んでいる。	排泄には特に配慮し、できる限り自力排泄が出来るように支援し必要によっては職員が見守り誘導しながらのトイレ排泄を実施している。特に個人別のデータによる排泄記録により自力排泄に取り組んでいる。	難しいケースを除き、日中はできるだけトイレでの排泄を主としている。尿意も分かり自立している利用者も若干名いるが任せたままでなく、さりげなく見守っている。チェック表があることで予測ができ誘導へ繋がっている。その効果は紙パンツ類の使用枚数が減り費用負担の軽減にもなっている。また入居後のケアをきっかけに改善した例もある。便座回りには手摺りのほか、ひじ掛けも設置しており、立ち座りを補うことで自立も促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により個人の便秘状況を把握し、活調剤やヨーグルトを提供している。また運動不足からの便秘については、努めて朝の体操や腹部マッサージ日課の散歩に参加させ、自然排泄できるよう支援している。食事面では、繊維質の多い食べ物や1日の水分摂取量にも気を使っている。	排泄記録により個人の便秘状況を把握し、活調剤やヨーグルトを提供している。また運動不足からの便秘については、努めて朝の体操や腹部マッサージ日課の散歩に参加させ、自然排泄できるよう支援している。食事面では、繊維質の多い食べ物や1日の水分摂取量にも気を使っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴については個人差もある事から、入浴時間を決めることなく利用者の希望を優先している。職員の勤務体制から昼間の入浴が多くなりがちなので夕方入浴希望者については、勤務体制を考慮しながら毎日でも入浴できるようにしている。	入浴については個人差もある事から、入浴時間を決めることなく利用者の希望を優先している。職員の勤務体制から昼間の入浴が多くなりがちなので夕方入浴希望者については、勤務体制を考慮しながら毎日でも入浴できるようにしている。	入浴は週三回を目途にしているが、風呂の準備は毎日出来ているため希望があれば可能である。入浴後には「気持ちよかった」と言ってもらえるものの、まず拒む利用者も多く、タイミングや職員のテクニックで誘導されている。入浴しない日には清拭やシャワーによる洗浄の場合もあり清潔保持にも努めている。浴槽は広く、一人ずつゆっくりと浸ってもらっている。歳を重ねるごとに縁をまたぐのも難しくなっているが、二人体制で安全には配慮している。衣服の脱ぎ着はできるだけ本人に任せ見守りの支援である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活習慣に合わせた安眠休息時間を妨げないことから原則自由としているが、昼間の睡眠は昼夜逆転にも繋がることから昼間をレクレーションやボランティア慰問等を組み入れ昼間の睡眠を抑制している。また、睡眠薬の使用は極力避けている。	利用者の生活習慣に合わせた安眠休息時間を妨げないことから原則自由としているが、昼間の睡眠は昼夜逆転にも繋がることから昼間をレクレーションやボランティア慰問等を組み入れ昼間の睡眠を抑制している。また、睡眠薬の使用は極力避けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤管理指導の下、ケースごとに服薬管理を行い事故防止を図っている。服薬前に服薬確認を行い、症状の変化の際には看護師に報告するよう義務付けている。また誤薬の事故は速やかに報告させ対応することとしている。	薬剤管理指導の下、ケースごとに服薬管理を行い事故防止を図っている。服薬前に服薬確認を行い、症状の変化の際には看護師に報告するよう義務付けている。また誤薬の事故は速やかに報告させ対応することとしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれのユニットロビーに大型テレビを備え付け、利用者の好みに応じた番組を鑑賞できるようにしている。好みの番組はそれぞれの個室で見られるように小型テレビを備え付けている。	それぞれのユニットロビーに大型テレビを備え付け、利用者の好みに応じた番組を鑑賞できるようにしている。好みの番組はそれぞれの個室で見られるように小型テレビを備え付けている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節、天候にて月に一度の外出支援を計画し行っている。利用者の希望や参加を募り昼食を兼ねたりリフレッシュを実施している。	季節、天候にて月に一度の外出支援を計画し行っている。利用者の希望や参加を募り昼食を兼ねたりリフレッシュを実施している。	本人から外出の希望が聞かれることは少ないが、話題を振れば興味は示してもらえる。年間行事として季節ごとの花見などドライブも計画されている。法人にリフト車両もあり、できるだけ外出の機会を増やしたいとは考えている。五感の刺激や日差しを浴びることのメリット等を理解しているからである。身体的に屋外へ出ることが難しい利用者もいるが、食事時、リビングまでは移動できるようにしている。近々、ウッドデッキの張替えが行われ、屋根付きに改修される予定である。新しくなったデッキでは居ながらにして季節の風を感じたり日光浴も可能となる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の所持金については、家族の了承のもと、必要なものを購入した場合は立替をし、後日家族に請求書を発行している。小額の金銭については本人の金銭管理能力を考慮の上、利用者にも保管させている。	利用者の所持金については、家族の了承のもと、必要なものを購入した場合は立替をし、後日家族に請求書を発行している。小額の金銭については本人の金銭管理能力を考慮の上、利用者にも保管させている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コードレス電話は自由に利用できる事としているが、市外電話については、本人の了解のもと料金徴収としている。手紙は封書を開封せず本人に手渡しするか家族に連絡し郵送している。	コードレス電話は自由に利用できる事としているが、市外電話については、本人の了解のもと料金徴収としている。手紙は封書を開封せず本人に手渡しするか家族に連絡し郵送している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間については、その快適性とよい雰囲気を出すため空調、照明の調整を行い、特に異臭防止には努めている。また清掃担当2名の職員を採用し清潔、整頓を励行させ、玄関入り口には季節感のあるプランターを配置、さわやかな環境づくりを行っている。	共有空間については、その快適性とよい雰囲気を出すため空調、照明の調整を行い、特に異臭防止には努めている。また清掃担当2名の職員を採用し清潔、整頓を励行させ、玄関入り口には季節感のあるプランターを配置、さわやかな環境づくりを行っている。	廊下に歩行を妨げる物はなく、天窓から入る日差しは穏かな雰囲気を作り、交通量も多い道路脇に建ちながら騒音は殆どない。手を触れる箇所の消毒や清掃全般は専門スタッフがやっている。事業所が敏感になっている不快な臭いは、トイレがドアではなくカーテンが使われている事にも起因している。特に汚物の処理に関してはベストな方法として実施しているが、今後も常に改良の意識はある。現状での不快な臭気はない。近々改修されるウッドデッキや畳を置いた椅子で思い思いに過ごしてもらえよう努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有部分のリビングは利用者のくつろぎの場所でもある事から行事のパネルや広報、イラストを掲示し明るいリズム感をもたせる一方、畳椅子に腰掛けての雑話、ベランダにてのくつろぎなどができる雰囲気作りに工夫している。	共有部分のリビングは利用者のくつろぎの場所でもある事から行事のパネルや広報、イラストを掲示し明るいリズム感をもたせる一方、畳椅子に腰掛けての雑話、ベランダにてのくつろぎなどができる雰囲気作りに工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	居室は規格より広めに設定されて おり、プライベート空間の確保も図っ ている。特に、家具の持ち込みも自 由とし、入居者は思い思いに自らに 合った調度品や写真を飾っている。 また仏壇の備え付けも自由とし、心 の安らぎを与えている。	居室は規格より広めに設定されて おり、プライベート空間の確保も図っ ている。特に、家具の持ち込みも自 由とし、入居者は思い思いに自らに 合った調度品や写真を飾っている。 また仏壇の備え付けも自由とし、心 の安らぎを与えている。	居室に持ち込む品物は、火気など の危険物以外に制限はしていない。 掃除は専門スタッフがを行い、職員は 居心地良く過ごしてもらえるようレイ アウト等は一緒に考えている。居室 にはクローゼット風のタンスなどが 置けるコーナーがあり、室内の整頓 もしやすくなっている。入り口は障子 の引き戸で古民家風な趣がある。家 族が希望すれば宿泊も可能であ る。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	利用者の中には、失敗を繰り返す 人もいるが、決して叱る事なく失敗 の要因を検証し本人の納得を踏ま え、食卓の移動、部屋替え、ポー タブルトイレの配置換えなどケース に合った工夫をしている。	利用者の中には、失敗を繰り返す 人もいるが、決して叱る事なく失敗 の要因を検証し本人の納得を踏ま え、食卓の移動、部屋替え、ポー タブルトイレの配置換えなどケース に合った工夫をしている。	/	

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない



項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない